

1	事業名称	南アルプスジオパークキャンプ				
2	新規・継続	継続	4年目			
3	趣旨	南アルプスジオパークを舞台に、雄大な自然の中での山歩きや地質的な観察、野外炊飯などの自然体験活動を通して自然の雄大さを実感し、自然の良さと共に怖さを学ぶことで自然との共生について考えることをねらいとする。				
4	期日・期間	回数	開始日	～	終了日	期間
		1回	8月5日(火)	～	8月9日(土)	4泊5日
5	実施場所	国立信州高遠青少年自然の家 しらびそ高原山岳オートキャンプ場 中央構造線博物館				
6	募集人数	20人				
7	共催・協力・後援	協力：伊那市 南アルプス（中央構造線エリア）ジオパーク協議会 中央構造線博物館 後援：長野県教育委員会 伊那市教育委員会 山梨県教育委員会 愛知県教育委員会				
8	参加者人数	22人				
9	参加者類型	小学校6年生5人 5年生9人 4年生8人 （男子10名、女子12名）				
10	参加者地域	長野県19人、山梨県1人、埼玉県1人、大阪府1人				
11	参加者分析	・当施設の他事業参加経験者が12名で、そのうち5名が昨年度に引き続き、本事業に参加した。 ・長野県内では、上伊那1名、下伊那4名、諏訪4名、中信8名、東信2名と、県内各地から幅広い参加があった。				
12	アンケート満足度	満足	やや満足	やや不満	不満	
		86%	14%	0%	0%	
13	アンケートの主な記述	・みんなでキャンプしたり、石や中央構造線のことを分かりやすく、楽しくみんなで勉強できてとても楽しかったです。坂本先生の話もとても勉強になりました。 ・はじめは5日間は長いと思ったが、一日一日が新しいことの発見だったので、良かった。 ・キャンプに参加したことで、全力、努力、協力の3つの力が全部発揮できまして。全力は、山道で一生懸命やったこと。努力は、みんなで力を合わせたこと。協力は、テントや料理のこと。これらのができました。とてもうれしかったです。 ・山は怖い楽しいところだと思った。そしてまた行きたいと思った。				
14	成果	・多くの参加者が大地の成り立ちや中央構造線を中心とした南アルプスの自然を捉えることができ、岩石や露頭を科学的に見る意識を高めることができた。 ・戦国時代から続く金山跡地や江戸時代の水田開発のための用水路（井筋）掘削跡を見学することで、先人の営みの上に現在の生活があり、自然の大切さや食べ物大切さを考えるきっかけとすることができた。 ・大鹿村の中央構造線を境にした東西の岩質や地形を比較観察することにより、災害の結果生じた地形と人々の生活が密接に結びついていることを知り、自然と折り合いをつけていこうとする子どもたちの意識を高めることができた。 ・一人ひとりの疑問や課題を班内で共有し共に考えたり、調査ハイキングや野外炊飯、テント泊などの班活動を通して、多くの参加者が他者と協力して活動することに楽しさや喜びを感じることができた。				
15	今後の課題	・小学校高学年の参加者にとって、岩石採集は、南アルプスを形成している岩石の種類とその成り立ちを学ぶ上では、大変分り易く魅力ある活動である。その一方で、自然との共生を考えるためには、さらにそこで生きている動植物や人々の関わりに具体的に結び付ける活動プログラムと、分り易い説明や例示の工夫が必要である。				
16	担当者メモ	・南アルプスジオパークのエリアが広大なため、活動場所への移動時間が長く、参加者の車酔いや疲労に対する対応を十分行わなければいけない。 ・天候によっては、土砂災害の心配のみならず、熱中症への配慮が必要である。				

プログラム展開		
日程・時間	プログラム	備考（講師等）
1日目		
13:00~14:00	開会式 オリエンテーション	
14:30~15:30	地形と露頭見学のガイダンス（杖突峠、板山露頭）	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
16:00~17:00	ガイダンス「南アルプスジオパークの概略」	飯田市美術博物館専門研究員 坂本正夫
19:00~20:40	ナイトハイク 星空観察	
2日目		
8:30~12:00	千代田湖～金鶏金山調査ハイキング ・蛇紋岩露頭の観察、標本採取 ・蠟石鉱山の観察、標本採取 ・金山跡(亀坑跡)の観察、標本(水晶)採取	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
14:00~16:30	溝口露頭調査、鷹岩（蛇紋岩）の観察、伝兵衛井筋跡の見学	南アルプスジオパークガイド 穴澤 辰幸 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
18:00~20:30	一日のまとめ ・調査のまとめ、疑問の洗い出し ・個人テーマ、班目標の設定	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
3日目		
7:30~16:00	・飯田市上村程野地区での露頭調査、岩石標本採取 ・中央構造線程野露頭、安康露頭調査	飯田市美術博物館専門研究員 坂本正夫
16:00~20:00	野外炊飯	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
20:00~	しらびそ高原山岳オートキャンプ場 テント泊	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
4日目		
10:00~11:00	大鹿村上蔵地区(地滑り跡集落)、大西公園(大西山崩壊跡地)見学	中央構造線博物館 学芸員 河本和朗
11:00~12:30	中央構造線博物館 見学	
15:00~17:00	岩石標本作り、まとめの構想	飯田市美術博物館 専門研究員 坂本正夫 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
19:00~20:30	話し合い、まとめの構想、キャンプのまとめ	
5日目		
9:00~12:00	キャンプのまとめ、発表の練習	国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
13:00~14:00	まとめの発表会および講評	飯田市美術博物館 専門研究員 坂本正夫 国立信州高遠青少年自然の家 企画指導専門職
14:00~14:20	閉会式	

17



坂本先生によるガイダンス



ろう石鉱山跡での水晶標本の採集



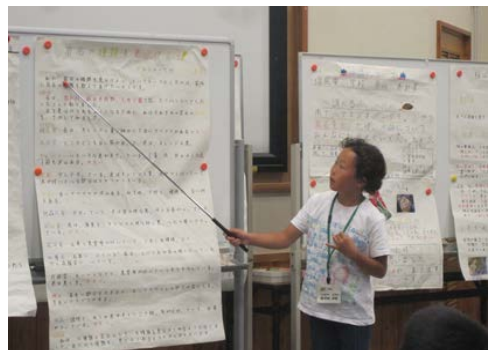
伝兵衛井筋の見学



しらびそ高原にて



岩石標本の作製



最終日 発表の場面